

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1493500225
法人名	社会福祉法人 愛光会
事業所名	グループホーム みなみ栄
訪問調査日	2016年3月28日
評価確定日	2016年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成27年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493500225	事業の開始年月日	平成25年4月1日	
		指定年月日	平成25年4月1日	
法人名	社会福祉法人 愛光会			
事業所名	グループホームみなみ栄			
所在地	(274-0025) 神奈川県横浜市栄区上之町18-8			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成28年3月10日	評価結果 市町村受理日	平成28年6月10日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が穏やかに過ごせるように、日々のレクリエーションや散歩に力を入れています。また、季節感を味わっていただけるように、お花を植えたり、季節の食材を使用したお食事を提供したり、行事では、初詣、お花見、芋ほりなど毎月、様々なレクリエーションを行っています。同一敷地内の小規模多機能事業所やサービス付き高齢者住宅の利用者様との交流も積極的に行っています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成28年3月28日	評価機関 評価決定日	平成28年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所の経営母体は社会福祉法人愛光会です。同法人は横浜市を中心に、特別養護老人ホーム・居宅介護支援サービス・ショートステイ・デイケアサービス・グループホーム・小規模多機能型居宅介護などの介護サービスを幅広く展開しています。ここ「グループホームみなみ栄」は平成25年4月に開所し、小規模多機能、高齢者専門住宅各1施設が同敷地内にあります。JR大船駅からバスで15分程度、バス停から歩いて4～5分のところにあります。近くには老人保健施設、戸建ての住宅地が立ち並ぶ閑静な住宅地の中に位置しています。

●管理者は着任1年目で、法人の理念に掲げている「安心・安全・信頼」の中の1つである「安全」を改めて見直すことを1年の課題として取り組んできました。建物の構造上職員の死角となるスペースもある為、再度ヒヤリハットを行ったことで、職員同士が声をかけながら利用者のケア、他の職員がフォローに入るなど職員間の連携強化にも繋がりました。次年度の目標に利用者の生活面での充実、個別ケアに力を入れていきたいと考えています。

●地域との交流については、自治会のサロンへの参加や、地域行事(どんと焼き・夏祭り・盆踊り)に積極的に参加し交流を図っています。また、近隣に建っている別法人の老人保健施設の交流会(夏祭り)に行き屋台で買い物をするなど交流を図っています。家族対象に開催している納涼祭では、ボランティアの方にバンドやマジックを披露していただいています。今後は、近隣の幼稚園との交流会を検討しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム みなみ栄
ユニット名	ひだまり

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
I 理念に基づく運営							
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人としての理念「安心・安全・信頼」を共有し、入職時に理念を明記したものを配布しています。また、玄関などに掲載をしています。	法人の理念である「安心・安全・信頼」と別に事業所独自の理念を作成し玄関に掲示しています。また、入職時に理念を明記したものを配布し、職員に周知しています。ユニット会議でもその都度理念について話し、理念の実践に繋げています。	今後の継続		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入会しており、行事のお知らせがあるので、どんと焼、夏祭り等、参加できる行事に積極的に参加しています。	自治会に加入し、散歩時に声をかけていただいたり、自治会のサロンに参加している他、地域行事(どんと焼き・夏祭り・盆踊り)に積極的に参加し交流を図っています。また、家族対象に開催している納涼祭では、ボランティアの方にバンドやマジックを披露していただいています。今後は、近隣の幼稚園との交流会を検討しています。	今後の継続		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営会議の中で、認知症の理解や支援方法を話し合っています。	/		/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	小規模と合同で2ヶ月に1回実施しています。自治会・地区センター・包括職員・家族・地域の住民の方々に参加していただいています。施設側の活動状況報告・地域の行事のお知らせを受けております。ご家族等からの要望・質問も受け付けています。	同敷地内にある小規模多機能と同日で開催しています。自治会、地区センター、包括職員、ご家族、地域の方々に参加いただき、事業所の活動・状況報告、地域行事のお知らせをいただいています。また、地域の方向けに脱水症状の対策や認知症の周辺症状についての説明を行い、認知症に対する情報を発信しています。	今後の継続		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生保担当者との連携、困難事例の相談、新規入居者の受け入れ時など、疑問点がある場合には、迅速に連絡し連携をとっています。	生活保護の受け入れも行っている関係で、担当者とは連絡を取り合っています。市・区の担当者とも困難事例や疑問点が発生した場合に相談に乗ってもらうなど連携を取っています。	今後の継続		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、規定が定められており、職員も閲覧できるようになっています。	法人内の身体拘束委員会で年1回は拘束についての研修を行い、拘束に該当する行為やスピーチロックについても理解を深めています。ミーティングでも管理者が事例を挙げて話し、徘徊や離設等の状態がある方でも薬で抑える等の行為は行わず、要因について話し合い解決に繋がっています。また、玄関は防犯上施錠していますが、ユニット間やエレベータは自由に行き来や使えるようにしています。	今後の継続	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関する事項が定められています。職員はいつでも閲覧できるようになっています。また、日常的に管理者と職員間の話し合いの中で虐待がおこらないように意識を高め、防止に努めています。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご家族に対して入居時などに、制度の説明や連絡先、手続きの助言を行っています。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、契約書・重要事項説明書について十分に説明を行い、同意の上、サイン・押印をいただいています。また、不明な点がないか確認を行っています。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活の中で会話、行動などから察知したり、ご家族が気楽に話せる環境作りを行っています。また、玄関にご意見箱を設置しています。	玄関に意見箱を設置し、いつでも投函出来るようにしていますが、面会時に生活の様子を伝えると共に直接話を聞くようにしています。年1回の家族会でも個別に話を聞く機会を設け、家族の相談にも乗るようにしています。以前、ご家族から一緒に行事に参加したいとの要望があり、家族にも案内を送付し参加していただくことにしました。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行うユニット会議にて意見交換や提案を聞くようにしています。また、日常的な会話のなかでスタッフとコミュニケーションをとるように努めています。	定期的に行っているユニット会議では業務やケアに関する意見交換が活発に挙がるので、話し合い検討した後に業務に反映させています。また、日頃の会話から聞き取った職員の意見については管理者、ユニットリーダー、ケアマネ参加の全体会議の中で検討し、ユニット会議で結果を報告しています。必要に応じて職員との個別面談の機会も設けています。	今後の継続	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、管理者等より情報収集を行い、職場環境・条件の整備に努めています。			
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には、積極的に参加し、参加した際には、レポートを作成し職員間で共有できるようになっています。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修に自主的に参加し、交流する機会を持つことを促しています。			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居決定前の申し込み時には、本人と話す機会を多くもつようにしています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面接時、契約時などに十分に要望・不安等をお聞きして、家族の気持ちに寄り添うようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症の症状の確認、ご家族の求めているサービスの確認、ご本人が何を望んでいるかを把握してから、話を進めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の残存能力を活かし、不足する部分については支援を行いながら、尊厳を傷つけないように対応して、良好な関係が築けるように努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気兼ねなく会話が出来るような環境作りに心がけ、本人の様子を伝えるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行事などのお誘いや、日常の生活の中でも家族と一緒に過ごしやすい雰囲気作りに努めています。	同敷地内にある小規模多機能からの入居者で、小規模多機能に行きたいと言う方や家族と自宅に外泊している方もおり、それぞれ馴染の人や場所との関係が途切れないように支援しています。また、個別対応で買い物や美容院にお連れしている方、年賀状や手紙のやり取りを継続している方は投函等の手伝いをしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや散歩等を通して、より良い人間関係が築ける様にしています。また、職員が間に入り関係作りの支援に心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も電話連絡を行い、状況を聞いたり、入居先の施設に訪問の際には、顔をだしたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に、ご本人の意向や希望に耳を傾けて自己決定が出来る様に援助し、本人の気持ちになって考える様に努めています。	日頃の会話の中から利用者の意向や希望に耳を傾け、自己決定ができるように支援しています。意向を伝えるのが難しい方には、職員から提案して、表情や仕草から本人本位に検討しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時だけでなく、ご本人の状況に応じて家族・ケアマネージャーなどから話を聞いて、本人の生活歴などの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェック及び表情や会話などから、ご本人の生活状況を把握するよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の暮らしぶりや会話などを基に、ケアカンファレンスを行い、ご家族とも話し合いながら介護計画を作成しています。	入居時は暫定の介護計画にて、1ヶ月程様子見をしています。カンファレンスは日々の生活状況や職員の気づきを基に、ご家族とも話し合いながら現状に即した介護計画を作成しています。また、介護計画は半年ごとの見直し、ADLや体調の変化に応じて都度の見直しを基本としています。	今後の継続	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個人記録に記入し、情報を共有しながら会議などで話し合い、実践できる様に努めています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の都合、その時のニーズに対応して支援しています。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で行われる行事などを、広報や回覧板などで情報を収集して掲示して、ご希望を聞きながら支援しています。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者は提携医療機関の往診を受診しており、医師に状況を把握していただいています。また、週1回以上、看護師が勤務している為、健康管理など適切なアドバイスを受けています。	かかりつけ医のある方や家族・本人の希望がある場合は、家族対応にて通院をお願いしていますが、現在は全員が提携医療機関の往診を受診しています。週1回、看護師が勤務しているため、健康管理など適切なアドバイスを受けています。内科医の往診は月2回、歯科は契約している方のみ、週1回の往診を受けています。提携医療機関は24時間対応可能となっています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師とは、オンコールでいつでも連絡が取れる状態になっています。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携医療機関のMSW・ご家族を介して情報を収集し共有しています。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	機会あるごとに家族と話し合いを持ち、協力医療機関の主治医・看護師と共に重度化した場合の支援等について話し合っています。	医師から医療による治療が必要という話があった際に、今後の方向性についてご家族、医師、管理者で話し合う機会を設けています。家族が医療行為を希望する場合は病院を紹介していますが、希望があれば事業所での看取りを行っています。		今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議で話し合ったり、研修があれば積極的に参加しています。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を実施しています。地域運営推進会議にて、地域住民との協力体制等について話し合っています。	小規模多機能と合同で年2回の防災訓練を実施しています。訓練時は夜間想定で行い、内1回は消防にも立会いをお願いして、水消火器を使った取り扱い訓練も実施しています。運営推進会議でも地域の方に災害時の見守りをお願いする等の協力体制についての話し合いも行っています。備蓄品は3日分の水や食料の他、衛生用品等も準備しています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重し、自尊心を傷つけない様に声掛けを行っています。個人情報の取り扱いにも十分に注意しています。	利用者の人格を尊重し、名字に「さん」づけを基本として声かけしています。日頃から指示や命令口調にならないよう、言葉遣いに注意を促し、自尊心等を傷つけないよう申し送りやミーティングで職員に周知しています。また、個人情報の取り扱いにも十分注意しています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に入居者様の意向に沿って支援しています。飲み物や主食など本人の希望を尋ねる様になっています。	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は、必ず本人に確認をとってから行動するように支援しています。何をしたいか、どこへ行きたいか等をお聞きするようにしています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容サービスの利用や美容院に同行しています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日会では、入居者様の希望をお聞きして出前を取ったりしています。入居者様の出来る範囲でテーブル拭き、お盆拭き、下膳等をお願いしています。	材会社の通常のメニューの他、誕生日会では、誕生日の入居者さんに希望を聞き、要望に沿った食事を提供したり、おやつレクを実施し、食事を楽しめるように支援しています。出前はお寿司をとることもあります。個別対応やご家族にも協力していただきながら外食に行く方もいます。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取表に記入しています。1日量が少ない時には、好きな食べ物や飲み物を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後には口腔ケアを実施しています。就寝前に入歯の洗浄を行っています。訪問歯科の利用もしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握するために排泄表の記録をしています。日中はなるべくパット類をつけない努力を行っています。	排泄チェック表を基に個々の排泄パターンの把握し時間やタイミングを見計らった誘導にて、出来るだけトイレで排泄出来るよう支援しています。日中はパットやオムツの使用を極力避け、トイレでの排泄を心がけた支援を行っています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向の方には、乳製品やかかりつけ医に相談して対処しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現在、曜日ごとに入浴者が決められていますが、入浴をしたくない時や、失禁された時を優先しています。	週2回午前中の中入浴を基本としていますが、利用者の気分や多気町に合わせて臨機応変に対応しています。拒否のある方には無理強いせず日にちを変えたり、職員を代えて対応しています。時には、入浴剤や季節湯も取り入れながらリラックスして入浴していただけるように支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	「体を休めましょう」「明日にしましょう」などの声掛けや、ベット誘導などを行い本人の状況を把握し支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様のケースファイルには、薬局からの服薬書がファイルされており職員はいつでも閲覧できるようになっています。服薬支援については、必ず一人ずつ名前・日付をを本人の前で読み上げ服薬介助を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々、その方の出来る事に依りて洗濯たたみ・テーブル拭き・お盆拭き等に参加していただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	ご家族の協力で外泊や散歩をされています。また、天気の良い日は外気浴、散歩を行っています。	敷地内には花をたくさん植えており、水やりや外気浴、周辺を散歩しています。近くの公園には藤棚もあり、時期になったら藤を見に出かけることもあります。車を使用した外出では、ご家族も同行して花見、イチゴ狩り、山下公園に行っています。また、ご家族と一緒に散歩や外泊をしている方もいます。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、現金をお持ちになつていない方はおりませんが、買い物を行かれたときは、会計をしていただき職員が確認をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	投函、代筆、電話の取次ぎ等、必要に応じて支援しています。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場合は、季節感のある手作り作品を飾っています。照明は照度と色合いが選べるようになっています。リビングでも気持ち良く過ごせる様に温度、湿度に気を付けています。	共有空間は季節の飾りつけが施され、壁には手作りカレンダーや貼り絵を飾り、食卓には生け花や造花が飾られ華やかな空間になっています。食卓から少し離れた場所にソファを設置し、新聞や本を見ながら寛げるスペースを確保しています。キッチンが対面式になっていることで、食事の準備や片付けをしながらでも利用者の見守りができる造りになっています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングテーブルの他にソファを設けあり自由に過ごせる様になっています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が心地よく過ごせる様に、ご家族と相談して使い慣れた家具や品物を置いて、空間作りを行っています。	入居前に今まで使っていた物を持ってきて頂くようにお話しています。ご自身が使い慣れたものを持ってきて配置し、本人が居心地よく過ごせるように、使い慣れた物を置き、家族と相談しながら空間作りを行っています。エアコン、クローゼット、介護用電動ベッドはホームとして設置しています。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内部はバリアフリーになっており、随所に手すりを設けています。トイレ表示やコールを設置しています。			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム みなみ栄

作成日

2016年3月28日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	33	重度化や終末期に向け 職員の不安の表出	ご家族・医師・看護師・ 介護職員のチーム ケアが出来る	1. 看取りケアの理解を する。 2. 意識の統一が出来 る。 3. チーム間の連絡体制 が出来る。	1年
2	38	その人らしい暮らしが 出来ること	1. 自己決定の支援 2. 個別支援	1. 外出レクリエーショ ン 2. 季節の行事 3. 選択食 4. 個別の外出（買い 物・外食・見学・散 歩）	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	グループホーム みなみ栄
ユニット名	こもれび

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人としての理念「安心・安全・信頼」を共有し、入職時に理念を明記したものを配布しています。また、玄関などに掲載をしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入会しており、行事のお知らせがあるので、どんと焼、夏祭り等、参加できる行事に積極的に参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営会議の中で、認知症の理解や支援方法を話し合っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	小規模と合同で2ヶ月に1回実施しています。自治会・地区センター・包括職員・家族・地域の住民の方々に参加していただいています。施設側の活動状況報告・地域の行事のお知らせを受けております。ご家族等からの要望・質問も受け付けています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生保担当者との連携、困難事例の相談、新規入居者の受け入れ時など、疑問点がある場合には、迅速に連絡し連携をとっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、規定が定められており、職員も閲覧できるようになっています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関する事項が定められています。職員はいつでも閲覧できるようになっています。また、日常的に管理者と職員間の話し合いの中で虐待がおこらないように意識を高め、防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご家族に対して入居時などに、制度の説明や連絡先、手続きの助言を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、契約書・重要事項説明書について十分に説明を行い、同意の上、サイン・押印をいただいています。また、不明な点がないか確認を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活の中で会話、行動などから察知したり、ご家族が気楽に話せる環境作りを行っています。また、玄関にご意見箱を設置しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行うユニット会議にて意見交換や提案を聞くようにしています。また、日常的な会話のなかでスタッフとコミュニケーションをとるように努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、管理者等より情報収集を行い、職場環境・条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には、積極的に参加し、参加した際には、レポートを作成し職員間で共有できるようになっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修に自主的に参加し、交流する機会を持つことを促しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居決定前の申し込み時には、本人と話す機会を多くもつようになっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面接時、契約時などに十分に要望・不安等をお聞きして、家族の気持ちに寄り添うようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症の症状の確認、ご家族の求めているサービスの確認、ご本人が何を望んでいるかを把握してから、話を進めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の残存能力を活かし、不足する部分については支援を行いながら、尊厳を傷つけないように対応して、良好な関係が築けるように努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気兼ねなく会話が出来るような環境作りに心がけ、本人の様子を伝えるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行事などのお誘いや、日常の生活の中でも家族と一緒に過ごしやすい雰囲気作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや散歩等を通して、より良い人間関係が築ける様にしています。また、職員が間に入り関係作りの支援に心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も電話連絡を行い、状況を聞いたり、入居先の施設に訪問の際には、顔をだしたりしています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に、ご本人の意向や希望に耳を傾けて自己決定が出来る様に援助し、本人の気持ちになって考える様に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時だけでなく、ご本人の状況に応じて家族・ケアマネージャーなどから話を聞いて、本人の生活歴などの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェック及び表情や会話などから、ご本人の生活状況を把握するよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の暮らしぶりや会話などを基に、ケアカンファレンスを行い、ご家族とも話し合いながら介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個人記録に記入し、情報を共有しながら会議などで話し合い、実践できる様に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の都合、その時のニーズに対応して支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で行われる行事などを、広報や回覧板などで情報を収集して掲示して、ご希望を聞きながら支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者は提携医療機関の往診を受診しており、医師に状況を把握していただいています。また、週1回以上、看護師が勤務している為、健康管理など適切なアドバイスを受けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師とは、オンコールでいつでも連絡が取れる状態になっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携医療機関のMSW・ご家族を介して情報を収集し共有しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	機会あるごとに家族と話し合いを持ち、協力医療機関の主治医・看護師と共に重度化した場合の支援等について話し合っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	会議で話し合ったり、研修があれば積極的に参加しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を実施しています。地域運営推進会議にて、地域住民との協力体制等について話し合っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格を尊重し、自尊心を傷つけない様に声掛けを行っています。個人情報の取り扱いにも十分に注意しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に入居者様の意向に沿って支援しています。飲み物や主食など本人の希望を尋ねる様になっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は、必ず本人に確認をとってから行動するように支援しています。何をしたいか、どこへ行きたいか等をお聞きするようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容サービスの利用や美容院に同行しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日会では、入居者様の希望をお聞きして出前を取ったりしています。入居者様の出来る範囲でテーブル拭き、お盆拭き、下膳等をお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取表に記入しています。1日量が少ない時には、好きな食べ物や飲み物を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後には口腔ケアを実施しています。就寝前に入歯の洗浄を行っています。訪問歯科の利用もしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握するために排泄表の記録をしています。日中はなるべくパット類をつけない努力を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向の方には、乳製品やかかりつけ医に相談して対処しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現在、曜日ごとに入浴者が決められていますが、入浴をしたくない時や、失禁された時を優先しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	「体を休めましょう」「明日にしましょう」などの声掛けや、ベット誘導などを行い本人の状況を把握し支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様のケースファイルには、薬局からの服薬書がファイルされており職員はいつでも閲覧できるようになっています。服薬支援については、必ず一人ずつ名前・日付をを本人の前で読み上げ服薬介助を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々、その方の出来る事に依りて洗濯たたみ・テーブル拭き・お盆拭き等に参加していただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族の協力で外泊や散歩をされています。また、天気の良い日は外気浴、散歩を行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、現金をお持ちになつていない方はおりませんが、買い物を行かれたときは、会計をしていただき職員が確認をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	投函、代筆、電話の取次ぎ等、必要に応じて支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場合は、季節感のある手作り作品を飾っています。照明は照度と色合いが選べるようになっています。リビングでも気持ち良く過ごせる様に温度、湿度に気を付けています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングテーブルの他にソファを設けあり自由に過ごせる様になっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が心地よく過ごせる様に、ご家族と相談して使い慣れた家具や品物を置いて、空間作りを行っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内部はバリアフリーになっており、随所に手すりを設けています。トイレ表示やコールを設置しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム みなみ栄

作成日

2016年3月28日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	33	重度化や終末期に向け 職員の不安の表出	ご家族・医師・看護 師・介護職員のチーム ケアが出来る	1. 看取りケアの理解を する。 2. 意識の統一が出来 る。 3. チーム間の連絡体制 が出来る。	1年
2	38	その人らしい暮らしが 出来ること	1. 自己決定の支援 2. 個別支援	1. 外出レクリエーショ ン 2. 季節の行事 3. 選択食 4. 個別の外出（買い 物・外食・見学・散 歩）	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。